

### 3 企業規模別（民営企業）の状況

民営企業の労働組合員数（単位労働組合）は840万4千人で、前年に比べて9万9千人（1.2%）の増となっている。

これを企業規模別にみると、1,000人以上規模が545万3千人（全体の64.9%）と6割以上を占め、300～999人規模が115万6千人（同13.8%）、100～299人規模が61万6千人（同7.3%）などとなっている。（第3表）

**第3表 企業規模別（民営企業）労働組合員数及び推定組織率（単位労働組合）**

平成27年調査

企業規模	労働組合員数			雇用者数 <sup>1)</sup>	推定組織率	
	対前年差	対前年増減率	構成比			
	千人	千人	%	%	万人	%
計 <sup>2)</sup>	8,404	99	1.2	100.0	5,152	16.3
1,000人以上	5,453	116	2.2	64.9	1,192	45.7
300～999人	1,156	-7	-0.6	13.8	1,447	12.2
100～299人	616	-14	-2.2	7.3		
30～99人	201	-3	-1.3	2.4	2,438	0.9
29人以下	29	-1	-4.0	0.3		
その他 <sup>3)</sup>	949	8	0.8	11.3	...	...

注：1) 「雇用者数」は、労働力調査の民営企業の数値である。

2) 「計」は、企業規模不明を含む。

3) 「その他」は、複数企業の労働者で組織されている単位労働組合及び企業規模不明の単位労働組合の労働組合員数を含む。